



今月は土砂災害防止月間です。土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害は、主に降雨が原因となって発生します。土砂災害から身を守るために、台風や大雨の際は土砂災害に注意して下さい。

「にんげんとやまがずっとなかよく、くらすたらいいなあ」～土砂災害防止月間にあたって～

梅ヶ島にお住まいの中学3年生になる杉山隆雅さん。8年前、「平成19年度土砂災害防止に関する絵画・作文」の募集に応募され、見事に国土交通大臣賞を受賞されました。8年前は小学1年生。土砂災害防止月間にあたって、改めて紹介します。



現在梅ヶ島中学校3年生の杉山隆雅さん

作文の部

●国土交通大臣賞 「「さほうえんてい」ってなあに」

「らいねんは、やさいがつくれなくなるかなあ。」おじいちゃんとおばあちゃんが、かなしそうにいました。ほくのうちは、わさびとおちゃのうかです。おじいちゃんたちは、はたけで、おいしいおやさいをつくってくれます。ほくは、おじいちゃんがつくるしんせんなおやさいが、だいすきです。

「そんなおやさいが、たべれなくなるのは、なぜだろう。」ふしぎにおもってきました。すると、「らいねん、うちのうらに、さほうえんていをつくるんだよ。こうじのトラックがはいるのに、どうろをひろげるから、うちのはたけが、つぶれてしまうんだよ。」と、おしえてくれました。おばあちゃんは、「こうじのトラックが、はいるようになると、いままでのようにあそべなくなるね。」といました。

「どうして、いやなことばかりなのに、さほうえんていをつくるのかなあ。」

「さほうえんていってなあに。」

ほくはちょうさをすることにしました。

さほうえんていっていうのは、あめがいっぱいふったとき、どしゃさいがいがおきないように、川の下にすんでいる人たちが、あんしんして、せいかつができるようにするために、つくるそうです。

「じゃあ、つくらないとどうなるの。」

ときくと、

「あめで、山がくずれて、いえがどしゃでうまってしまったり、人のいのちがなくなってしまうんだよ。」

と、おしえてくれました。

静岡市立梅ヶ島小学校1年 杉山隆雅さん

ほくのおうちから、もうすこしのぼると、うめがしまおんせんがあります。おじいちゃんが、おんせんのどしゃさいがいのことを、おしえてくれました。

「しょうわ41ねん9がつ26にちのよる、たいふう26ごうがじょうりくして、うめがしまに、いままでにないくらいの、おおあめがふって、どせきりゅうがおきたんだよ。とても大きなひがいがでて、いのちがなくなった人が20人もいたんだ。おじいちゃんは、そのながされた人たちをみて、たいへんだとおもって、たすけにいったんだよ。」

と、はなしてくれました。

とってもかなしいおはなしてした。ほくは、しにたくありません。

うちもながされたくないです。さほうえんていをつくれれば、ひがいがなくなるなら、うちのはたけがなくなってもいいです。そとでおもいきりあそべなくても、さほうえんていが、みまもってくれるならいいです。さほうえんていはせったいにひつようだとおもいました。

ほくが大きくなったら、大あめをすいとる、「大そうじき」をつくってみたいです。そして、水のないくにの人に、水をきれいにしてわたしてあげたいです。

ほくは、しぜんがっぱいの、うめがしまがだいすきです。山をいっぱいげると、山がおこります。木をきりすぎると、どしゃがくずれやすくなってしまいます。にんげんと山が、ずっとずっとなかよく、くらすたらいいなあとおもいました。このさくぶんをかいたあと、山にちいさな木を一本、うえてみようとおもいます。

静岡西ロータリークラブ 大谷崩れの植樹活動で土砂災害防止功労者表彰

日本三大崩れのひとつ「大谷崩れ」において、毎年植樹イベントを実施し、本年度28回の開催をむかえる静岡西ロータリークラブ(高橋雅実会長)が、「平成27年度土砂災害防止功労者表彰」を受賞しました。活動を通して植樹を体験しながら砂防事業の効果や土砂災害防止の必要性を見て、聞いて体験させる形で土砂災害防止意義の普及に貢献したことが受賞理由となっています。



第33回土砂災害防止全国の集い表彰式(6月4日:山形市内)



H26.10.26記念植樹



土砂災害から身を守るために知って頂きたいこと

土砂災害は、予測の難しい災害ですが、土砂災害から身を守るために皆様に知っていただきたい3つのことについてお知らせします。

台風や大雨に備えて

① お住まいの場所が、土砂災害警戒区域か確認する

静岡県では土砂災害のおそれがある区域を「土砂災害警戒区域」として指定を進めています。
お住まいの場所が指定されているか静岡市の防災マップで確認しましょう。

雨が降り始めたら

② 土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する

大雨による土砂災害の危険性が高まった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら雨雲の動きや土砂災害警戒情報に注意しましょう。

豪雨になる前に

③ 大雨時や土砂災害警戒情報が発表された際には早めに避難する。

溪流沿いにお住まいの方は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された際には、早めに近くの避難所など安全な場所に避難してください。静岡市の避難勧告などの情報には注意してください。

① 防災情報を重ねて閲覧するハザードマップは…国土交通省ハザードマップポータルサイト [ハザードマップ](#) [検索](#)

② 土砂災害警戒情報は…気象庁、静岡県土木総合防災情報サイポスで [検索](#)

③ 豪雨などで避難所への避難が困難な時は次善の策として、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難したり、さらに困難な場合には、家の中の沢から離れた部屋や2階などの少しでも安全な場所に避難してください。

土砂災害防止についての絵画・作文を募集しています!

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害のようすや砂防施設を見学した時に見たこと、感じたこと、考えたことをドンドン送ってください。

【内容・大きさ】 絵画のかき方、大きさは自由。作文は400字詰め原稿用紙で小学生低学年は2枚程度、高学年は4枚程度、中学生は5枚程度でどちらも未発表のものに限ります。

【応募期間】 6月1日～9月15日まで

【応募資格】 小学生・中学生

【送り先】 〒420-8601 静岡市葵区大手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課「土砂災害防止に関する絵画・作文募集」宛

【賞】 最優秀賞／優秀賞

【発表】 平成28年2月中旬



編集後記

最近では一時間に100ミリを超える局地的な豪雨も頻発し、各地でこうした集中豪雨による被害が増えています。土砂災害に備えて、日頃から「非常時持ち出し袋」の準備、避難地・避難経路の確認、家族の安否確認の方法などを御家族で確認したり、ご近所同士で声を掛け合うことも重要だと思います。



皆様からの情報やご意見を募集しますので、以下までお願い致します。

Tel:054-269-2003、E-mail:http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiwase.html

